

教科シラバス(3年芸術科(音楽))

教科名	音楽	科目名	保育音楽	学年	3年(文系一般選択)	単位数	2
教科書と副教材		改訂 歌唱教材伴奏法					
1. 科目目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、保育音楽についての理解を深める。						
2. 学習方法	<p>保育音楽では、実践を通して音楽表現力を身につけることを目標とします。主に「表現」について学習します。</p> <p>「表現」は歌唱・器楽・創作の活動があげられます。いずれも人間の生きる営みとしての音楽を享受し、自己表現することが重要です。一人一人がのびのびと個性を主張し、かつ全体の調和を追及する中で、感動し、感性を高め、創造的な表現の能力を伸ばすことが大切です。</p> <p>① 声や歌で表現すること、ピアノで表現すること、伴奏付の基礎知識を学習します。</p> <p>② 様々な音楽活動を通して、人間関係の基盤を形成するとともに自己を確立し、「生きる力」の原動力を育むコミュニケーション能力を身に付けます。</p> <p>③ 音楽活動に宿る連帯感に支えられ、感動体験の共有をめざし、集団の中における自己表現力を身につけます。</p>						
3. 学習評価	評価は次の3つの観点から行います。						
	関心・意欲・態度		芸術的な感受や表現の工夫		創造的な表現の技能		
	音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を持ち、意欲的に音楽活動をしようとしているか。		感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取って創造的な音楽活動の工夫をしているか。		自己のイメージを表現するための技能を身に付けそれを生かして創造的に表現しているか。		
	授業態度 学習の取り組み状況 (観察・聴取) 学習プリントの作成状況		学習の取り組み状況 (観察・聴取)		実技課題進捗状況 学習の取り組み状況 (観察・聴取)		
評価は、学習の取り組み状況(観察・聴取)、実技課題進捗状況、学習プリント、授業態度を総合的に判断して決定します。定期考査は行いません。							
4. 学習サポート	<p>進路について</p> <p>幼稚園教諭・保育士を希望する人は、保育音楽を選択してください。</p> <p>自分で歌いながら伴奏をする能力は、ぜひ身につけてほしい能力です。</p> <p>初めてピアノを経験する人も、経験者も、将来の進路のために、技術とところを磨きましょう。</p> <p style="text-align: center;">いっしょに音楽しましょう</p>						